

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	健康福祉
使用教科書	生活と福祉(実教出版)			使用副教材等	なし				

目標	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 ・高齢者の健康と生活、介護などについて理解する。 ・高齢者の健康や介護に関する技術を身に付ける。	思考・判断・表現 ・高齢者の自立生活支援や福祉の充実に向けて考える。 ・家族や地域の豊かな生活の実現に向けて考える。	主体的に学習に取り組む態度 ・課題解決に向けて、積極的に意見を述べる。 ・安全面や衛生面、身だしなみに気を付けて実習に取り組む。
評価方法	①高齢者の健康と生活、介護などについて理解している ②高齢者の健康や介護に関する技術が身に付いている	③高齢者の自立生活支援や福祉の充実に向けて考えることができる ④家族や地域の豊かな生活の実現に向けて考えることができる	⑤課題解決に向けて、積極的に取り組むことができる ⑥安全面や衛生面、身だしなみに気を付けて実習に取り組んでいる

担当者からのメッセージ	この科目は、高齢者の介護と福祉に関する知識と技術を習得し、高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について考え、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援を担う資質・能力を育成することをねらいとしています。急速な高齢化の進展と人口減少社会、高齢者福祉に関する制度の変化などに対応できる能力を身に付けることを目指します。また、保育検定の受検により、高齢者だけでなく保育技術の習得も目指しています。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 ・健康の概念について理解する ・高齢社会の特徴を理解する ・健康な生活を送るために、実生活に活かせる手立てを考える	評価方法①【ワークシート(記述部分)】
	5	3章 高齢者の自立生活支援 2節 高齢者介護 ・麻痺、聴覚障害、視覚障害を体感し、それぞれの障害に応じた介護の手立てを考える ・認知症を理解し、必要な介護を話し合いまとめる	評価方法⑥【介護体験実習態度、振り返りシート】 評価方法③【ワークシート(記述部分)】
	7	○検定を通して、保育に関する技術を習得する(保育検定4級)	評価方法②【検定取得】 評価方法⑤【練習態度】
2	9	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 1節 高齢化の現状 ・人口の高齢化が起こる仕組みを考え、理解する ・日本の高齢化の現状について調べ、まとめる ・高齢社会における問題点を把握し、改善策を考える	評価方法①⑤【高齢社会に関する調べ学習・ワークシート】
	10	2節 高齢者の心身の特徴と病気 ・高齢者の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、まとめる ・高齢者の病気を理解する	評価方法③⑤【レポート課題(高齢者の特徴)・話し合いの態度】
	11	5章 介護・看護の実習と生活支援 手話教室【外部講師】 1節 介護の実習 2節 看護の実習	評価方法①④⑥【介護実習態度・実習記録簿】
	12	・実習を通して介護の基礎的な技術を習得する。 ・実際に用いられている福祉用具を使用し、名称や使用方法を理解する。 ・検定を通して、保育に関する技術を習得する。(保育検定3級)	評価方法②【検定取得】 評価方法⑤【練習態度】
3	1	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 3節 高齢者の生活課題と施策 ・高齢者の生活課題を取り上げ、どのような施策が行われているか調べ、まとめる。	評価方法③⑤【レポート課題・調べ学習・話し合いの態度】 評価方法⑤【振り返りシート】
	2	・1年間のまとめ・振り返り	評価方法①【定期考査】